

第 14 回 ミーティング

日 時 平成 29 年 12 月 2 日 (土) 15:00~17:00

場 所 栗平白鳥自治会館にて

出席者数 7 名

1 ペットとぼうさい情報について

- ・毎月発行ではなく、情報のあるときに発行する。
- ・飼い主さんと犬との絆を強くする散歩の仕方についての情報発信をしたらどうか。
- ・川崎市発行のチラシ「ペットとくらす『さ・し・す・せ・そ』」の内容を情報紙に掲載する。



2 NPO 法人文京動物介護協会主催「第 21 回犬の運動会」に参加しての感想 (参加メンバー 1 名)

- ・11 月 12 日 (日) 13:00~15:00、文京区立礪川小学校校庭にて開催。参加頭数 120 頭。参加人数 180 名。
- ・当日、1 頭につき保険料 100 円を支払った。
- ・熊本地震では、クレートが足りなくなり段ボールを使った。
- ・「ハウス」はできても、災害時に自分の慣れたハウスがあるわけではないことから、段ボールでのハウス体験があった。段ボールに入ることが出来ない犬が多かった。
- ・競技種目は、徒競走、ハードルを使っての障害物競走、フラフープ内でお座り、お玉リレー、パン食い競争があった。
- ・老人ホームの方々を招待。車いすの人もいた。

3 はるひ野小中学校避難所がペット同行避難可となった理由

- ・学校が、ペット同行避難の体制を整えたことにより OK となったとのこと。

- どのような体制に整えたのかの聴き取りが必要と思われる。学校に直接問い合わせてはどうか。

4 近隣の動物病院獣医師との情報共有について

(1) 「サークルとして、どのような活動をしていったらよいでしょうか」という質問に対する先生からのアドバイス

- 行政や獣医師会、ボランティア団体の役割の確認
- 情報網や連絡網の確立
- 備蓄品の確認
- 人と人との繋がりづくり

(2) 先生との懇談会当日について

(2-1) 先生に話していただくこと

- ①災害時、川崎市の動物愛護センターはどのような役割になるのか。ペット同行避難可の避難所と不可の避難所への対応など。
- ②先生が体験した被災時や被災地のペットの状況について

(2-2) サークルからの質問

- ①先生からのアドバイスの中で、今後、主に取り組んでいきたい事として、人と人との繋がりづくり（人とペットの共生社会を目的とする）を考えている。そのためのイベントを検討しているが、ご意見やアイデアを伺いたい。

自治会の枠を超えて実施。

犬と飼い主が集まりやすいイベントとして、犬の運動会などはどうか。

- ②マナーの大切さや躰に関心のある人が少ないと感じる。人とペットが共生するためには何が大事なのか。

5 その他

- 最近、路上に放置されたままの糞を見かける。ペットとの共生社会実現のために、マナーの大切さを示していきたい。定例会の前に、1 時間程、糞拾いの活動をする事になった。

6 今後の予定

- 12月9日（土）17：00

近隣の動物病院獣医師との懇談会 ⇒ 忘年会

- 1月6日（土）定例会 14：00 自治会館前に集合

14：00～15：00 糞拾い

15：00～ 会議

持ち物 ベスト、ビニール袋、トンブ（サークル会費で購入）

以上